



あかぬ! (447)
のたみなぞ
「やだ! やだ! もっと遊ぶ!」
「いいこの後 仕事の打ち合わせがあるんだよ」

打ち合わせの帰り道
家出るとき
泣いてたから
「プリンでも買って帰ればニコニコだよ」

ほらマサル!
お土産のプリン
だぞ!
「プリンもだけど いい帰って来て嬉しい!」



町田さん作の看板が目印

【目黒・看板・町田新一記】
目黒通り沿い、目黒消防署近くにあります。元々は恵比寿に本店を持つ「香湯拉麺 ちよりの目黒店」だったので、本店で修行した店主の石川氏が「香湯拉麺 ひろや」の名前で2021年4月にオープンさせました。

湯麺 ひろや
目黒消防署
バス停
徒歩1分

新・赤さようさん
私
の
行きつけ

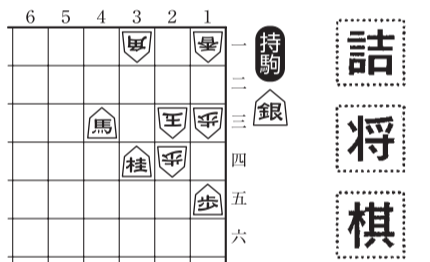


店内にはL型のカウンタ―が配置されており席は8席ほど。ランチタイムは早くから席が埋まり、行列ができる事もある人気店です。店主一人で切り盛りしている小さな店ですがラーメン以外のメニューも充実しています。一人でもふらっと行っても顔

伝えておくことがいくつか
例えばワインについて

- 個人的な嗜好ですが、冬は味噌ラーメン、夏は塩ラーメンを主に啜っています。最後にもう一つ、お店の看板は私が作りました。
《メニュー》(税込)
ラーメン 700円
塩ラーメン 700円
味噌ラーメン 850円
チャーシュー麺 950円
餃子 500円
シューマイ 550円
腸詰 550円
味付け肉盛 550円
ビール(中瓶) 550円
酎ハイ 400円
【営業時間】11時半〜14時、17時半〜24時
【定休】火曜、第二第三水曜
目黒区下目黒6-16-14 西野ビル1F
☎03-3719-2018

馴染みに遭遇する確率が高くて楽しみ過ぎて締めラーメンまでたどりの着けない事もあり反省中。
そして、伝えておかないといけない大事な事がある。それは、ラーメン屋なのにワインセラーが設置されている



詰将棋

チヨット一服(1065)
1990年代初頭に一世を風靡したアメリカのロックバンド、ガンズ・アンド・ローゼス。この11月に、5年ぶりの来日公演が決まった。その公演ホスターに旭日旗が使用されていると、韓国の大学教授から抗議をうけた。教授は「日本の旭日旗はドイツのハーケンクロイツと同じ意味である」点を強調し、「アジアのファンを2度と傷つけないように」と削除、差し替えを要請した。
確認すると、強調されてはいないが、般若のような顔のおでこの部分にそのような模様が見える。過敏な反応にも思えるが、やはり使用は避けるべきだったのだろう。



長女の結婚で一区切り
天国の妻に感謝

私の奥さんは小学校のクラスメート。同窓会で久々に再会し、幹事を一緒にするというところで意気投合。30歳で結婚したどこにもあるごく普通のカップル。一男一女にも恵まれた普通の家族でした。結婚生活も10年を過ぎ、子どもも大きくなり、頭の痛いことも多くありました。20年も間近になり、私の顔を見るとカミカミ言うことも多くなり、閉口しました。そんなある日、女房が「熱っぽく汗が出て息が苦しい」と言い出しました。私は「更年期だろう」と取り合いませんでした。次の日、仕事から帰るも女房不在。夜遅く、女房から電話。救急車で運ばれて入院し、4、5日帰れないと告げられました。数日後、担当医から連絡があり、レントゲン写真を見る前に3者面談。「肺がんです。ステージ4で手術もできません」。目の前が真っ白に…。私は車で良くタバコを吸っていた。そのせいで助手席にいた女房が肺がんになったのでは…。悔やみました。それから抗がん剤治療が始まり、入院退院の繰り返し。入院した病院は本郷にある東大病院。そして、宣告を受けて2年と2カ月、女房は天国に旅立ちました。その後、同じ病室にいた方から私と結婚して良かったと言っていたことを聞き、胸が熱くなりました。写真になって13年、今では長男も結婚。長女も嫁ごうとしている。ここで一区切り。今こうしていられるのもみんな女房のおかげ。かあちゃん感謝、ありがとう。長女の結婚式、写真になってしまっただけ出席だよ。(葛飾)

忘れえぬこと

0キロ超級の金メダルを獲得し一躍時の人になった石井慧。同年には総合格闘家への転向を表明した。その後、世界中の格闘技団体を渡り歩き、5年前から練習拠点をクロアチアに移す。この間、2度の結婚・離婚を経験。現在は柔術世界女王のクリスティン・ミケルソンを3人目の妻とし、クロアチア国籍を取得。先月14日にはプロボクサーとしてデビューした。



スキャンダル 監督 ジェイ・ローチ

闇に葬ってはならない真実を暴く
実はこの騒動、2017年にロジャーの死去でクレッチェンがFOXニュースと和解したことで幕引きとなっていた。しかし、脚本を担当したチャールズ・ランドルフの執念の取材により完成にこぎつけたという経緯があった。安倍元総理の国葬に反対する意見に対して、「死屍



に鞭打つ行為」などの批判があるようだが、死者への礼節と故人の生前の行ないに対する検証はまったくの別物。闇に葬ってはならない真実を明らかにすることが、世の中を変えていく力となることを示したという意味で貴重な一作である。